

フォーラム福岡・宇美大会 10/19(土)・20(日)



福岡県で初開催となる「巨木を語ろう全国フォーラム」が10月19日・20日の両日、宇美町で開かれました。

宇美八幡宮には、宇美町のシンボルでもある国指定天然記念物「湯蓋の森」と「衣掛の森」という2本の巨木がそびえ立ち、この2本の巨木は石川県巨樹の会が発行した「日本巨樹見立番附」において、全国の楠の中で東西の横綱として紹介されています。また、境内には30本余りの巨木も栄えており、日本有数の楠の森としても有名です。

今回のフォーラムで、巨木を宇美町の貴重な観光資源としてまちづくりにどのように生かすのか、また、後世にそのままの姿で残していくために、私たちに何ができるのかを考える機会となりました。

9月定例会

決

算

表決一覧

一般質問

各種委員会活動

全員協議会

特

集

パネルディスカッションパネラーからの声



宇美八幡宮 宮司
伊藤 佳和 氏

境内の樹齢2千年以上と推定される国指定の天然記念物の楠の巨木をはじめ30余りの大楠が栄えそびえる境内、安産育児の守護神子安の大神と称される宇美八幡宮子安の杜を後世にこのままの姿で残したい。



基調講演講師

パネルディスカッションコーディネーター
福岡県林業技術者連絡会会長
福島 敏彦 氏

講演テーマ「巨樹・巨木と人々の生活」

巨樹・巨木は日本経済を支えた。地球環境をまもる日本の森林の働きなどを講演。



樹木治療研究会
樹木医
大神 邦明 氏

宇美八幡宮クスノキ治療記録を報告。樹木医の立場で巨木を後世に繋いでいくことが大切。



全国巨樹・巨木林の会
福岡県支部 前支部長
松尾 政信 氏

長崎原爆被爆クスノキと関わって長崎山王神社で見聞し学ぶ。子どもたちに伝えながらの19年間の想いを報告。

参加者Voice

兵庫県柏原町在住
小松 忠重 さん



(最初にフォーラムを開催された方)
巨木に魅せられた人々が気楽に集い、未来を担う子どもたちも巨木への想いを語り合うフォーラムにしたい。

参加者Voice

北九州市在住
平野 真弓 さん



17年前から毎回参加している。
福岡での開催は初めてなので、楽しみにやってきました。台風の後には気になる巨木を必ず見に行くほど巨木が好きでたまりません。

参加者Voice

福岡市博多区在住
光安 輝高 さん



フォーラム参加後、衣掛の森の牛のコブを見に来ました。初めはわからず、発見した時はすごく感動しました。

第32回巨木を語ろう全国



宇美八幡宮湯蓋の森(ゆふたのもり)

国の天然記念物に指定されている樹齢約2千年以上といわれる大楠。
神功皇后が応神天皇をご出産された際に、この楠の木の下で産湯が使われたとき、枝葉が産湯の上にふたをしているように見えたことから、この名がついたといわれている。



宇美八幡宮衣掛の森(きぬかけのもり)

国指定天然記念物で数度の火災にあいながらも生き続ける樹齢約2千年といわれる大楠。幹には牛の顔に見えるこぶがある。

20日(日)に行われた 巨木観覧ツアー 太宰府 歴史コース

太宰府天満宮境内にそびえる夫婦楠(写真上、樹齢300年以上)とチシャノ木(写真下、樹齢300年以上)を観覧する参加者の皆さん。